



都 発 第 163 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

鶴岡市長 富塚陽一



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

貴職におかれましては、日頃より本市の道路行政への取り組みについて、ご理解とご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け、国道企第37号にてご依頼ありました標記につきまして、別紙のとおり取り纏めましたので、よろしくお取り計らい下さるよう御願いたします。

問い合わせ窓口

山形県鶴岡市建設部都市計画課

課長 佐野智樹

電話 0235-25-2111(内線 461)

FAX 0235-25-2059

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山形県鶴岡市

- 道路特定財源等に関する基本方針が閣議決定され、来年度から一般財源化と中期計画の見直しが進められており、基本方針によると、一般財源化しても地方財政に影響を及ぼさないように措置するとあります。
来年度以降も地方道路整備臨時交付金等の制度を存続するよう御願います。
- 真に必要な道路の議論があり、高速道路の整備についても厳格な事業評価を行うとしましたが、費用対便益(B/C)だけで本当に真に必要な道路の評価と言えるのかとの疑問があります。
地域の各産業の発展、及び安定した社会生活のため、災害時の代替機能、救急医療へのアクセス性の向上など高速交通に対する依存度といった内容も指標に加味されるよう御願います。
- 中心市街地活性化の促進のため、まちづくり交付金事業を活用し、歩行者空間の整備とまちづくりを一体として行っており、そのための事業として電線類の無電柱化も行っております。そもそも再生を図る事業でございますので沿線は電力、通信の需要密度は低い環境にあります。公益事業者の取り組みを促し、一層の無電柱化を図るには、まちづくり交付金と一体として電線共同溝事業を行う場合は、無電柱化事業に対し、新規で高い交付税の充当率を設定するなど公益事業者の負担を無くする取組みが生活者優先の道路行政として重要と考えます。

○現状

市町村合併に伴って、住民の日常生活圏域は新潟県境地域を含み、消防、防災、救急の救済行動圏域、域内交通のパターンも変化してきている状況にあります。

本市における道路交通事情は、国道7号及び国道112号が広域幹線道路として極めて重要な役割を担い、基幹道路のネットワークを形成しております。

しかし、7号においては海岸部の急峻な山岳丘陵部を通過しており、平成18年に崩落土砂により7日間の全面通行止めを余儀なくされ、流通の主役である大型車の迂回路は約2時間の負担を強いられました。

また、112号は月山山岳部の地すべり地帯を通過しており、他に迂回路が無い状況下であり、災害への備えといった面では誠に脆弱な基盤となっています。

本市の特徴である加工組立型産業、伝統産業、バイオに関する研究機関を一層の集積を図り、商工業の振興を促進するための基盤整備も他都市に比べ不足している状況にあります。

一方、中心市街地に目を転じると、低廉で良好な住宅地供給が行われる中で、モータリゼーションの進展や流通構造の変化、顧客ニーズへの対応などにより、広域的に都市構造に影響を与える規模の大きな集客施設の郊外立地が進み、中心市街地の活力や魅力の低下は著しく、衰退現象が深刻化している現状にあります。

○課題

- ・ 災害対応のため幹線道路を補完する路線が必要
- ・ バイオに関する研究機関や企業の集積など、地力を発揮するためには、高速ネットワークが当地域に連携されることが必要
- ・ 広域観光ルートの形成など、圏域を越えた視点が必要
- ・ 各地域の核となる区域について、歩道の段差、電柱が乱立
- ・ 広大な市域のいずれにおいても災害への備えと万全の対処が必要
- ・ 社会資本の経年劣化や要求性能の向上に対処した維持管理が必要
- ・ 防雪及び除雪対策の充実が必要

まちづくりの基本方針として以下の3つを目指します。

①健康福祉都市の形成

鶴岡市は、様々な伝統行事や祭りなど地域に根ざした暮らし方や教学の伝統などが色濃く残されています。こうした人と人との結びつきや市民性にもとづき、市民の主体的な行動に行政の施策が協調・協働し、豊かで安心な暮らしの実現に向けてまちづくりを進め、高い評価を得てきました。

しかし、一方では少子高齢化や人口の減少などの社会環境の変化により、暮らしの有り様を見つめ直す必要が出ています。

このため、積極的に健康づくりや福祉のまちづくりに参加する「健康福祉都市」を形成します。

②学術産業都市の形成

歴史と伝統のある文化を生かし伝統芸能や歴史的かつ文化的な景観を守り、次世代に継承します。また、農業では全国有数の食料生産地となっており、農林水産物の産地づくりとブランドづくりを進め、日本の豊かな食料の安定供給地としての地位を確立していきます。

さらに電子・電機や輸送などの国内有力企業が立地しており、既存企業の高度化や活性化を促進するとともに、新企業の誘致を進め、工業集積を一層高めることで働く場を確保します。

一方、知識社会と言われる今日、教育研究活動を一層拡充し、農林水産業をはじめとする基幹産業の高度化と先端的な研究や開発機能を応用した産業の集積を推進し、地域の活力を高めます。

このように伝統ある産業から最先端の知識や技術に基づく未来型産業までを振興し、伝統と先端の調和する「学術産業型都市」を構築します。

③森林文化都市の形成

鶴岡市は、美しい自然環境に恵まれています。経済や社会の発展とともに、利便性を優先した結果、自然に対する認識も観念的なものとなっています。一方、資源・エネルギーの循環といった観点から、森林の役割が注目されています。

これらを再認識して、森林を貴重な資源として活用し、木材の利用をはじめ、バイオマスエネルギーとしての利活用などを推進することに加え、教育に森林を活用するなど、人と自然との新しい文化的な関わり合いを構築する「森林文化都市」を創造します。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式④

山形県鶴岡市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・高速交通ネットワークの整備(日沿道)	・山形、新潟など1つの観光圏域として観光客の増加 ・バイオ関係の企業集積 ・自然関係をテーマにした交流、学習教育の推進 ・新潟、山形県境に位置する優位性を生かし、観光地の中間地点として宿泊客の増加が期待 ・関西方面への最短ルートによる輸送費の削減 ・地場産業の発展(鶴岡ブランドの確立)	・ネットワーク化を見据えた温海温泉 ・販売ルートの拡大
・危機管理の強化	・国道7号と日本海沿岸東北自動車道の相互の補完	・物流、医療等の安定化	
・少子高齢化社会を見据えたバリアフリー化	・道路とまちづくりの一体的整備 (商店街の再整備と道路整備の一体化)	・市街地が賑わいを取り戻し、バリアフリー化された歩道空間を活用してナイトバザールを行うことで、集客数の増加が期待 ・空き店舗の減少 ・市街地居住の増加	
・良好な生活空間	・道路とまちづくりの一体的整備 (シビックコアと道路整備の一体化)	・まちなか回遊を促し賑わいの創出が期待	

参 考 資 料

地域活力の向上

高速交通ネットワークによる観光・産業・教育など多様な交流・連携

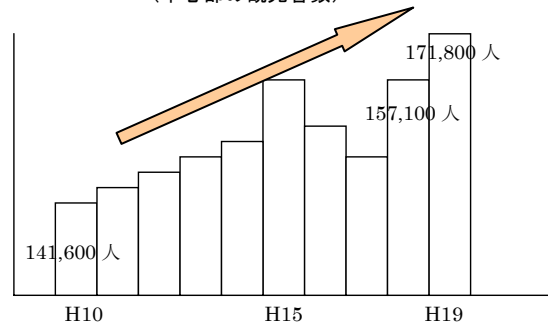
【実施項目】

- ① 市中心部にある鶴岡公園近郊に観光施設が集積されており、高速交通ネットワーク化によりさらなる観光客数の増加をにらみ中心部に藤沢周平記念館を建造中
- ② 鶴岡インター近郊に慶応義塾大学先端生命科学研究所の研究成果を核として、次代を担う新規、成長分野であるバイオに関する研究機関や企業が集積するバイオクラスターを形成し、受け皿となるバイオサイエンスパークを整備
- ③ 市内にある自然公園がラムサール条約に登録され、生態系に関する研究、調査に役立ち学習環境にも利用可能な博物園等を検討中

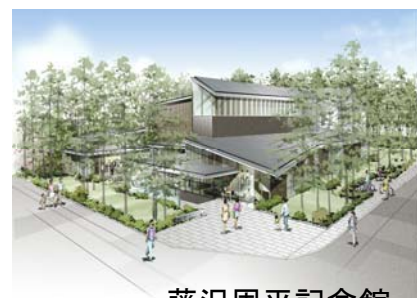
【期待される効果】

- ① 直木賞作家藤沢周平の作品映画「たそがれ清兵衛」、「蝉しぐれ」の影響もあり、観光客が増加している現状にある。当該映画の流行のキーポイントは当市に多く存在する自然、伝統、文化、歴史などであり、リピーターの増加に期待。藤沢周平記念館を観光の軸として、大河ドラマ「天地人」の舞台である新潟など1つの観光圏域としてモビリティの確立による周遊を期待

(中心部の観光客数)



映画の撮影風景



藤沢周平記念館

- ② 高速交通のネットワーク化により学会会議やセミナーなどによる本市情報の発信、コンベンションとしての機会が増大。また、当研究は農作物の生産性の向上や食糧生産などへの応用が期待されるが、物流が確立することで地域の基幹産業である農林水産業の発展が期待される。



鶴岡メタボロームキャンパス

③ラムサール条約の登録により、自然をテーマにした交流の拡大、自然学習教育の推進
学識者による生態系の研究、フォーラムなどの開催が予想されるが、高速交通ネットワーク化により、より多くの来訪者が期待できる。

また、同地域でハスの群生地として有名な上池のハスの実で加工食品を開発し、地域活性化策として、ラムサール条約登録のシンボルとなる地域ブランドの確立に取り組む。



上 池

地域活力の向上

高速交通のネットワーク化を見据えた温泉街のまちづくり

温海温泉は日沿道「温海インター（仮称）」から約5分の位置にある

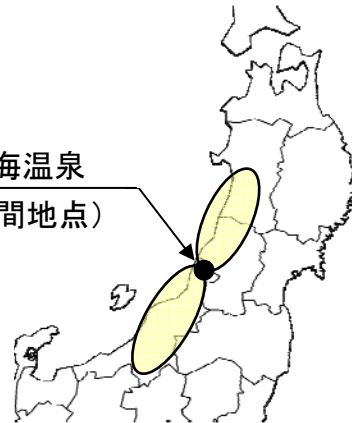
【実施項目】

- ・道路空間に足湯を設置しおもてなしの空間へ創出
- ・建物をセットバックし官民一体でおもてなし空間の創出

【期待される効果】

- ・新潟、山形県境に位置する優位性を生かし、双方の観光地の中間地点として、高速交通のネットワーク化による宿泊客の増加に期待

温海温泉
(中間地点)



整備前



整備後



中央分離帯に足湯を設置

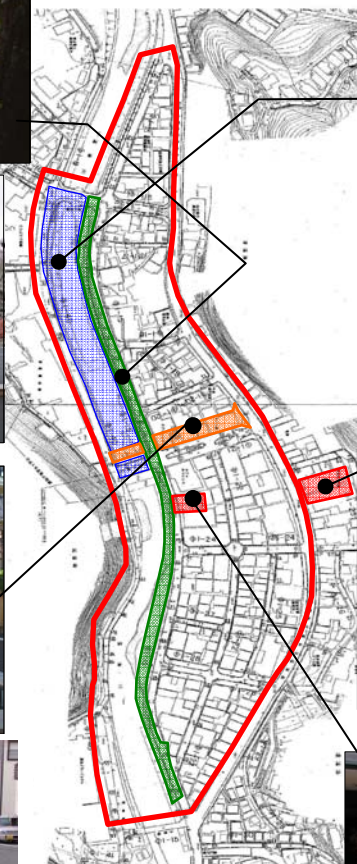
足湯「もっけ湯」



朝市広場



建物をセットバックし空間を創出



地域活力の向上

高速交通ネットワークによる特産物の販売ルートの拡大

【実施項目】

- ・ 庄内の特産物を日沿道を利用し、関西圏へ販路拡大



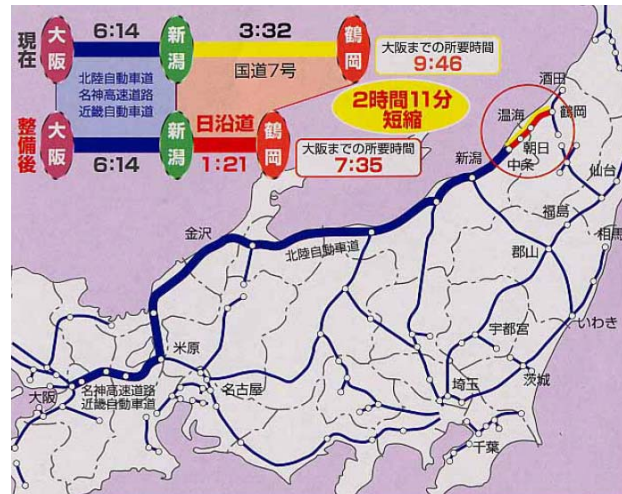
【庄内柿】



【ただちゃ豆】

【期待される効果】

- ・ 最短経路による輸送費の削減
- ・ 地場産業の発展



【庄内砂丘メロン】



【温海かぶ】

危機管理の強化

国道7号と日本海沿岸東北自動車道の相互の補完

H18年に鶴岡市小波渡地区で大規模な土砂崩落の災害が発生した。
鶴岡市小波渡から新潟県村上市山北までは同様ののり面状況が連続しており、また冬季は越波により安全な交通環境を阻害している現状にある。

【地域として取り組むべき施策】

- ・ H18年の災害時の経験から7号の代替路線として日沿道を整備
- ・ 迂回路の345号を整備するより効率的
- ・ 越波対策として山間部を通過する日沿道を整備

【期待する効果】

- ・ あらゆる分野への影響が少なく、安全、安心の構築が期待される



(狭隘な345号)

少子高齢化社会を見据えたバリアフリー化

道路とまちづくりの一体的整備

【実施項目】

- ・ 本通りでは毎月第3土曜日にナイトバザールを平成6年から続けており、毎回3000人を越える集客力のあるイベントに成長しており、今後更なる賑わいを創出するため地域住民と議論を重ね、テナントミックスなど中心市街地の賑わいを創出、歩道空間は電線共同溝事業による無電柱化及びバリアフリー事業、無散水融雪を実施し歩いて暮らせるまちづくりを計画



(ワークショップ)



(ナイトバザール)

【期待する効果】

- ・ 市街地が賑わいを取り戻し、バリアフリー化された歩道空間を活用してナイトバザールを行うことで、より多くの集客数の増加が期待できる
- ・ 空き店舗の減少が期待できる
- ・ 市街地居住の増加が期待できる



(整備前)



(整備後のイメージ)

良好な生活空間

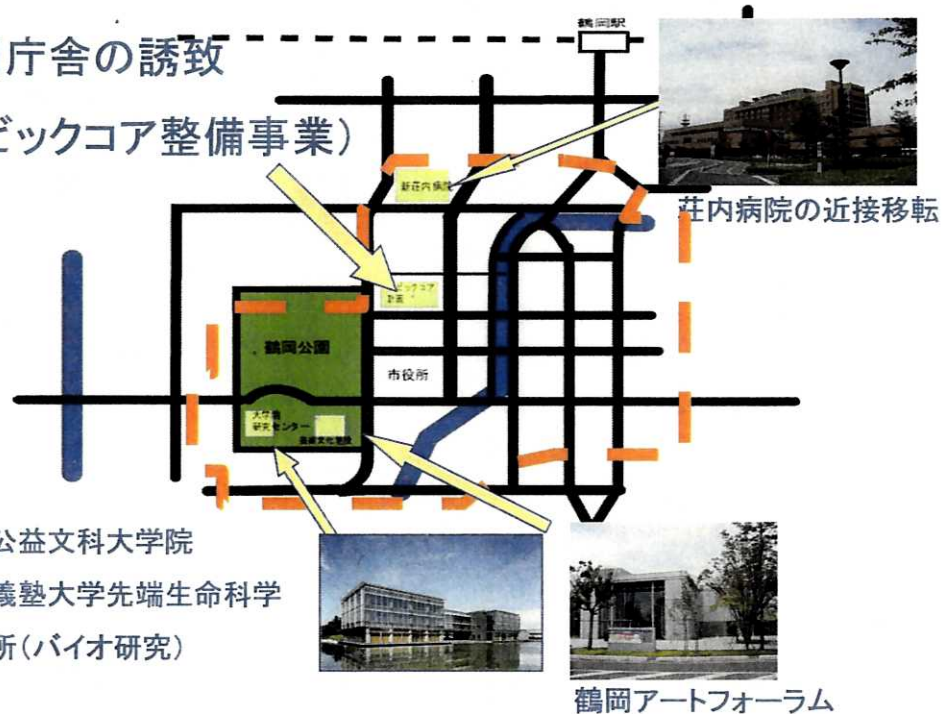
道路とまちづくりの一体的整備

【実施項目】

- ・ シビックコア事業により集約型都市構造への転換を図り、あわせて周囲の道路空間の無電柱化、及びバリアフリー、無散水融雪整備を実施
- ・ 桜並木等による景観性も考慮し、付加価値の高い歩行者優先のコミュニティ道路を図る
- ・ 沿線住民で構成されるまちづくり協議会による「まちづくり協定」のルール化

合同庁舎の誘致

(シビックコア整備事業)



【期待する効果】

- ・ 修景施設整備事業により、城下町らしい街並みの統一が図られることにより、まちなか回遊を促し、賑わいの創出が期待できる
- ・ シビックコア事業により、施設来訪者の自動車導線を集約、確定するため歩行者の安全性の増加が期待できる

